

発売予告②

～テスト販売中～

花蕾の在圃性が良く、花蕾腐敗しにくい、耐寒性の中生種

ブロッコリー「BR-10」

<特性>

- 播種後120日前後で収穫できる中生種
- 草姿はやや開張性で、草勢旺盛、栽培しやすい
- 花蕾は正円形のドーム状となり、崩れや花蕾の腐敗は少ない
- 茎は太いが、空洞は出来にくく重量感がある
- 耐寒性に優れ、寒さによる花蕾の白斑や脱色はほとんど見られない

▼ここに注意

- ◎ 排水の悪い畑は、排水溝を作り、堆肥や緑肥などで土づくりを行う
- ◎ 肥料切れの場合は、アントシアンが発生しやすいので注意する
- ◎ 追肥は原則1回(定植後25日前後)、1回分の施肥量は3～4kg/N/10aとする

栽培作型

●: 播種期 ▲: 定植期 ■: 収穫期

地域	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般地		●	▲				■		
暖地		●	▲				■		



発売予告③

～テスト販売中～

長期収穫に向く、つる性丸さや品種

インゲンマメ「BN-132P」

<特性>

- つる性品種の中では開花、収穫始めが早い
- 草勢はやや旺盛でつる伸びが早い
- キセラよりもやや太めで莢の凸凹は目立たない
- 莢色は濃く、照りは少なく品質良好
- 曲がり莢の発生が少なく秀品率が高い
- 樹から莢離れが良く、比較的収穫しやすい
- 莢内部のゼリーが充実しており、収穫後の日持ちが良好
- 2、3番花の花数が多く、莢の品質も良好であることから長期収穫に適する

▼ここに注意

- ◎ 草勢不良が莢の品質低下、特に莢表面に水泡の斑点症状(生理障害)として現れる原因になるので、肥料切れや過乾燥に注意し、こまめな肥培管理をおこない草勢の維持に努める
- ◎ 分枝がやや少ないので、50～100cmの間で摘芯し、分枝の発生を促す。葉も大きくなることから、こまめな摘葉をおこない、樹を整理しながら、樹勢を保つ
- ◎ 収穫始めが早いので誘引は早めに行う
- ◎ 一番花のみの短期収穫では収量が乗らないので長期の収穫を目指す

